

2007 年度活動報告書

〔教育セミナー・ワークショップ〕

セミナー「新入社員のための人間中心設計」

開催日：2007年5月24日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：28名

〔講師〕

「人間中心設計の基礎」

・郷 健太郎氏（山梨大学）

「新入社員のためのユーザビリティ評価・入門編」

・伊藤 泰久氏（㈱U'eyes Design）



セミナー「人間中心のデザイン事例」

開催日：2007年8月10日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：17名

〔講師〕

「ウェブサイト&ウェブアプリケーションにおける人間中心設計アプローチ入門」

・篠原 稔和氏（ソシオメディア㈱ 代表取締役）

「富士通のウェブ・アクセシビリティの取り組みについて」

・永野 行記氏（富士通㈱ 総合デザインセンター ユーザー・エクスペリエンスデザイン部）

ワークショップ「ソフトウェア技術者のためのユーザビリティ工学講習会」（全4回）

開催日：2007年12月5日～2008年1月30日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：21名

〔講師〕

演習1：「要求仕様定義」

講 師：平沢 尚毅氏（小樽商科大学商学部 准教授）

演習2：「シナリオ作成」

講 師：郷 健太郎氏（山梨大学 大学院医学工学総合研究部 准教授）

演習3：「UI設計入門」

講 師：高橋 賢一氏（㈱ソフトデバイス 代表取締役）

小川 俊二氏（㈲カイデザイン 取締役）

演習4：「ユーザビリティ評価」

講 師：鱗原 晴彦氏（㈱U'eyes Design 代表取締役）



講演会「人間中心設計のデザイン事例」

開催日：2008年1月25日

開催場所：メビック扇町（大阪）

参加人数：26名

〔講師〕

「松下電器のユニバーサルデザイン取組みと課題・展望」

- ・高長 光男氏（松下電器産業(株) パナソニックデザイン社 ユニバーサルデザインチーム）

「GUIにおける発想事例」

- ・高橋 賢一氏（(株)ソフトデバイス 代表取締役社）



講演会「ソフトウェア開発と人間中心設計」

開催日：2008年2月29日

開催場所：小樽商科大学 ビジネス創造センター（札幌）

参加人数：27名

〔講師〕

「ソフトウェア開発と人間中心設計との関わり」

- ・平沢 尚毅氏（小樽商科大学ビジネス創造センター ユーザーエクスペリエンス研究部門 研究部門長）

「ソフトウェア技術者向けの人間中心設計教育について」

- ・葛西 秀昭氏（小樽商科大学ビジネス創造センター ユーザーエクスペリエンス研究部門 学術研究員）

〔パネリスト〕

- ・安達 賢二氏（(株)HBA）
- ・後藤 祥文氏（(株)デンソー）
- ・松田 英克氏（東京エレクトロン ソフトウェア・テクノロジーズ(株)）



〔展示会〕

組込みシステム開発技術展 (ESEC)

開催日：2007年5月16日～18日

開催場所：東京ビックサイト

【概要】

組込みシステム開発技術展 (ESEC) にセミナー、展示両面で参加した。

【セミナー】「ユーザーインタフェース最新動向」

「ヒューマンインタフェースとしての音声認識技術の最新動向」

・鈴木 清幸氏 (株アドバンスト・メディア 代表取締役社長)

「ユニバーサル・セーフティ・デザインの提唱」

・鱗原 晴彦氏 (株U'eyes Design 代表取締役)

【展示ブース】

書籍 (HCD-Net 関係者による執筆書物) に対応した紹介ポスターを併用し、HCD-Net の活動を対外的にアピールした。

Embedded Technology2007 (組込み総合技術展)

開催日：2007年11月14日～16日

開催場所：パシフィコ横浜

【概要】

Embedded Technology2007 (組込み総合技術展) カンファレンス、展示両面で参加した。

【カンファレンス】「人間中心設計フォーラム 2007 組込み型ソフトウェアのためのユーザビリティ事例」

「オムロンヘルスケアにおけるユーザビリティへのアプローチと事例」

・小池 禎氏 (オムロンヘルスケア(株) デザイン部 部長)

「リコーにおける人間中心設計プロセスの実践事例」

・吉岡 真氏 (株リコー 経営品質管理本部 アプライアンス推進室 スペシャリスト)

「ソシオメディアにおける人間中心設計へのアプローチと事例」

・篠原 稔和氏 (ソシオメディア(株) 代表取締役)

「企業へ人間中心設計のアプローチを導入するには」

・山崎 和彦氏 (千葉工業大学 工学部 デザイン科学科 教授)

【展示ブース】

専門書籍を展示し、HCD-Net の活動について説明をした。

[イベント・その他]

2007 年度通常総会

開催日：2007 年 6 月 1 日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数：24 名

[概要]

報告事項：2006 年度活動・会計報告

決議事項：役員を選任について

決議事項：2007 年度活動計画・2007 年度予算



HCD-Net フォーラム 2007「ユニバーサルデザインはこれからどうする？」

開催日：2007 年 6 月 1 日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数：195 名

[概要]

ユニバーサルデザインは、関係者のたゆまざる努力の結果、それなりの社会的認知を獲得した。しかし、その概念やイメージはまさに多様性そのものであり、関係団体や関係者が活動している方向性もさまざまであるのが現状である。また、ユニバーサルデザインが取り扱っている人間の特性は、まだ限定された範囲のものに過ぎず、扱っている対象物も限定された範囲に留まっている。こうした現状に対し、これからのユニバーサルデザインのあり方、取り組み方をユニバーサルデザインへの多様な取り組みを実践しておられる有識者の方々と共に考え、議論する場として HCD-Net 主催のフォーラムを開催した。

[講演者及びパネリスト]

- ・川原 啓嗣氏(国際ユニバーサルデザイン協議会)
- ・関根 千佳氏(ユーディット)
- ・ばば こういち氏(放送ジャーナリスト)
- ・諸永 裕一氏(経済産業省)
- ・横尾 良笑氏(日本ユニバーサルデザイン研究機構)
- ・Seongil Lee 氏(Sungkyunkwan University, Korea)
- ・黒須 正明氏(独立行政法人メディア教育開発センター研究開発部 教授)

ツール研究発表会

開催日：2007 年 6 月 1 日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

[概要]

ISO13407 の人間中心設計プロセス毎に有効と思われるツールを紹介する場を提供し、ツールの有効性についての議論や今後のユーザビリティビジネス市場の拡大のための議論を行える場として研究発表会を開催した。

[発表団体]

- ・静岡県工業技術研究所
- ・(有)カイデザイン
- ・キヤッツ株
- ・YAMAGATA INTECH株
- ・株U' eyes Design



講演会「クロスカルチャ・ユーザーエクスペリエンスデザイン」

開催日：2007年7月19日

開催場所：富士通株式会社 芝公園オフィス

参加人数：60名

〔概要〕

ユーザーインタフェース、インタラクティブマルチメディア、及び印刷・出版ドキュメントの分野で国際的に定評のあるアロン・マーカス氏 (Aaron Marcus) をお招きして、ユーザーエクスペリエンスデザインに関する講演会を開催した

〔講師〕

Aaron Marcus 氏

(President, and Principal Designer/Analyst of Aaron Marcus and Associates, Inc.)

HCD-Net Party at Beijing

開催日：2007年7月26日

開催場所：Qiao Jiang Han, Beijing

参加人数：38名

〔概要〕

HCI2007と連動して北京にて、日本のHCD関連者及びHCD-Net Advisory Boardメンバーとの交流会を開催した。

第1回HCD-Net サロン「ペーパープロトタイピングの世界」

開催日：2007年8月21日

開催場所：千葉工業大学 デザイン科学科 ユーザエクスペリエンスデザイン研究室

参加人数：57名

〔概要〕

ソフトウェアやハードウェアの試作版(プロトタイプ)を紙上に作成する「ペーパー・プロトタイピング」という手法は、改善や改変を受け入れやすい、手軽に多数の選択肢を提示できる、幅広いユーザーからのフィードバックを迅速に得られるなどの利点がある。本HCD-Net サロンでは、その手法と事例の解説するとともに参加者と一緒に関心設計において、このような手法の活用について討議した。

〔講師〕

「ペーパープロトタイピングの手法」

- ・ 黒須正明氏(独立行政法人メディア教育開発センター研究開発部 教授)

「ペーパープロトタイピングの事例」

- ・ 山崎和彦氏(千葉工業大学 工学部 デザイン科学科 教授)



ユーザビリティハンドブック出版記念講演会「ユーザビリティの昨日・今日・明日」

開催日：2007年9月4日

開催場所：U.S.エデュケーション・ネットワーク内 セミナールーム

参加人数：66名

〔概要〕

8月に共立出版より『ユーザビリティハンドブック』が出版された。この出版を記念をして、編集幹事の方にお集まりいただき、「ユーザビリティの昨日・今日・明日」について講演および、パネルディスカッションを開催した。

〔講師〕

- ・小松原 明哲氏（早稲田大学・教授）
- ・若松 正晴氏（三菱電機株・部長）
- ・早川 誠二氏（株リコー・部長）
- ・黒須 正明氏（メディア教育開発センター・教授）

講演会「HCD導入によるリスク軽減～HCD未導入プロジェクトが抱える潜在リスクの検出方法を教えます～」

開催日：2007年9月6日

開催場所：U.S.エデュケーション・ネットワーク内 セミナールーム

参加人数：15名

〔概要〕

企業の開発プロセスへのHCD(Human Centered Design)導入の経験が豊富なユーザビリティコンサルタントであるナイジェル・ビバン博士をお招きして、HCD導入によるリスク軽減に関する講演会を実施した。現在、開発プロジェクトにHCDを導入するための系統立った方法は明らかにされていない為、参照するテキストにより採用するメソッドがバラバラで混乱しているのが現状である。本講演では、ISO 13407から派生し、HCD活動を詳細に規定しているISO PAS 18152 “Process assessment of human-system issues”の内容を元にして、HCD活動を導入しないとどのような潜在リスクが開発プロジェクトに発生するのかを明らかにする方法を説明した。

〔講師〕

Dr. Nigel Bevan 氏

第2回HCD-Net サロン「Contextual Designの活用」

開催日：2007年10月16日

開催場所：株式会社コンセント

参加人数：20名（HCD-Net 会員限定）

〔概要〕

ユーザーの経験を考慮した「Contextual Design」という手法は、人間中心設計の代表的な手法の一つである。本HCD-Net サロンでは、参加者には事前に資料を読んできていただくことを前提に、参加者と一緒に人間中心設計において、このような手法の活用について討議した。

〔講師〕

「Contextual Designの紹介」

- ・長谷川 敦士氏（株コンセント・代表取締役）



World Usability Day 2007 Japan

開催日：2007年11月8日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：45名

〔概要〕

World Usability Day (以下 WUD) は、ユーザビリティを世界に広めることを目的に、世界各地で同じ日に行われるイベントである。この UPA (Usability Professionals' Association) が主催する WUD イベントに当機構も賛同し、テーマである「ヘルスケア」をユーザビリティの視点から考える時間を設けた。又、イベントの目玉は、国際会議/海外イベントの参加報告会として長谷川氏 (㈱コンセント) はシカゴから、篠原氏 (㈱ソシオメディア) はサンフランシスコからリアルタイムで本イベントに参加して下さった。

〔講演〕

「電子カルテシステム GUI 改善事例」 石井 宏昌氏 (㈱富士通デザイン)

「ユーザー視点から見た緊急通報システムの使いやすさ」 緒方 啓史氏 (㈱山武)

「オムロンヘルスケアにおけるユーザビリティへのアプローチと事例」 小池 禎氏 (オムロンヘルスケア㈱)

第3回 HCD-Net サロン「先進的インタフェースデザインにむけて」

開催日：2008年1月30日

開催場所：株式会社ソフトデバイス

参加人数：30名

〔概要〕

ユーザーの経験を考慮した「Contextual Design」という手法は、人間中心設計の代表的な手法の一つである。本 HCD-Net サロンでは、参加者には事前に資料を読んできていただくことを前提に、参加者と一緒に人間中心設計において、このような手法の活用について討議した。

〔講師〕

「インタフェースデザインのためのプロトタイプ手法～ペルソナからプロトタイプへ」

・山崎 和彦氏 (千葉工業大学 工学部 デザイン科学科 教授)

「先進的インタフェース開発について」

・八田 晃氏 (㈱ソフトデバイス CEO)、高橋 賢一氏 (㈱ソフトデバイス CEO)

賛助会員向けイベント「ビジネスに役立つ HCD」

開催日：2008年3月14日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：31名

〔概要〕

賛助会員の方々からのご支援にお応えするために、「HCD を企業の中に浸透させる」「HCD がどのようにビジネスに役立つか」など、日頃賛助会員の皆様がお持ちの悩みについて当機構の理事とともに意見交換する場を設けた

〔講師〕

「HCD の最新動向」 平沢 尚毅氏 (小樽商科大学)

「HCD とビジネス」 堀部 保弘氏 (㈱三菱総合研究所)

「企業に HCD を導入するには」 山崎 和彦氏 (千葉工業大学)



[プロジェクト]

地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価 (引越情報部門)

主催：HCD-Net 規格・認定事業部

概要：人間中心設計プロセスの重要性を Web 開発者に伝える目的で地方自治体 Web サイトのユーザビリティ評価 (引越情報部門) を行った。ワークショップを開催して受講した 55 名の参加者が第 2 次審査員となり、専門家による最終審査を経て、人口 13 万人以上の 305 地方自治体のサイトの中から、利用者にとってより使いやすく便利なホームページを 6 サイト選定した。

6 つの優秀サイトは下記の通りです。

最優秀サイト：神奈川県川崎市麻生区

第 2 位：東京都品川区

第 3 位：茨城県ひたちなか市

優秀サイト：東京都渋谷区

新潟県長岡市

神奈川県横浜市旭区

地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価の結果報告及び表彰式

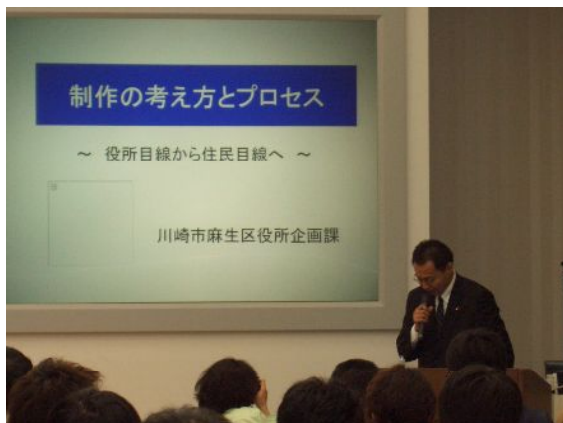
日時：2008 年 4 月 17 日 (木)

場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加者：98 名

【概要】

優秀サイトが選ばれるまでのプロセスを説明し、優秀サイトの川崎市麻生区、品川区、ひたちなか市には表彰状を贈呈、第 2 次審査員の方々に修了証を授与した。又、各行政の担当者からホームページ作成のプロセスについて説明をして頂いた。又、「Web サイトにおける CMS (コンテンツマネジメントシステム) の現状と今後～コンテンツマネジメントとユーザビリティ」に関する講演を行った。



※ 地方自治体 Web サイトのユーザビリティ評価(引越部門)の結果報告書を作成しました。
ご希望の方は事務局までお問い合わせください。